

経 営 方 針

(1)会社経営の基本方針

当社は創業以来、「事業活動を通じて、世界中の人々の暮らしの向上と、社会の発展に貢献する」という経営理念をすべての活動の指針として、事業を進めてまいりました。今後さらに世界の優良企業への成長をめざして、株主や投資家、お客様、取引先、従業員をはじめとするすべての関係者の皆様にご満足いただけるよう、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

(2)会社の経営戦略と対処すべき課題

2008年度は、新興国経済については引き続き高成長が見込まれますが、サブプライムローン問題や、原油をはじめとする資源・エネルギー価格の高騰、為替の変動リスクなど、世界経済の先行きには不透明感があります。エレクトロニクス業界も、北京オリンピックに向けた需要増などから堅調な成長が見込まれる一方で、予想以上の価格低下の進行や、米国や日本の住宅市況低迷が長期化するリスクを抱えており、予断を許さない状況にあります。

このような経営環境のなか、2008年度は、「GP3計画」の中間年度として、しっかりと成果をあげて計画達成への流れをつくる年にしなければなりません。「成長を軌道に乗せる」「収益体質を強化する」の2点を基軸に、「海外二桁増販」「4つの戦略事業」「モノづくりイノベーション」「エコアイディア戦略」を重点テーマとして、着実な実践を図ってまいります。

「海外二桁増販」では、主戦場である欧米で着実な取り組みを推進するとともに、BRICs+ベトナムでの成長の加速、北京オリンピックによる需要の喚起、アプライアンス商品のさらなる海外展開を図ります。「4つの戦略事業」については、デジタルAV、カーエレクトロニクス、生活快適実現、半導体・デバイスのそれぞれの事業において商品力の強化を図るとともに、相互に連携することで相乗効果を拡大してまいります。特に、薄型テレビ事業については、プラズマテレビで大画面市場を牽引するとともに、2008年8月には兵庫県姫路市に液晶パネル工場を着工し、液晶パネルの安定調達と液晶テレビ事業の垂直統合型事業構造への転換を進めてまいります。「モノづくりイノベーション」では、原価低減プロセスの徹底追求、V商品のさらなる強化を図ります。「エコアイディア戦略」では、業界№1の省エネ性能をもつ商品の拡大や、生産活動におけるCO₂排出量の削減に積極的に取り組んでまいります。また、社会の皆様とともにエコロジー活動の輪をひろげる取り組みも幅広く行ってまいります。

加えて2008年度は、5年後、10年後を視野に入れた次世代の成長に向けた取り組みも進めてまいります。今後も持続的に成長していくためには、既存商品、既存事業の強化に加えて、新たな事業の育成が必要です。ドメイン間にまたがるような事業領域で、現在の商品が進化・融合して生まれるような事業、例えばカーエレクトロニクス、モバイルAV、セキュリティなどの分野で部門間の連携を加速して、新規事業の創出に取り組んでまいります。さらには、「ネットワーク」「環境・エネルギー」「健康」「デバイス」などの領域でも新たな可能性を追求してまいります。

なお、当社は、株主の皆様のご承認を得られることを前提にして、2008年10月1日付で社名を「パナソニック株式会社」（英文表記：Panasonic Corporation）に変更する予定です。また、現在日本国内の白物家電・住宅設備機器分野の商品に使用している

「National」ブランドを、2009年度中をめどに廃止し、国内ブランドも「Panasonic」に統一します。この社名変更・ブランド統一は、真のグローバル企業を目指す決意の表明であり、全従業員が「Panasonic」のもとで一丸となり、グローバルにブランド価値の向上に取り組んでまいります。

また、株主重視経営の観点から、株主還元についても引き続き積極的取り組み、成長戦略の成果を配当と自己株式取得によって総合的に還元してまいります。